

日大生のやってみたいを実現するプロジェクト成果報告書

2019012

プロジェクト名 日本大学オープンコースウェア

プロジェクトの概要

私たちは、学部ごとにキャンパスが分かれている日本大学で、自分の所属学部以外の授業を、インターネット上で、どこでもだれでもいつでも無料で使える講義配信サービスを構築することを目指して活動している。今年度は、理工学部、法学部、芸術学部、国際関係学部、工学部を拠点として、各学部の先生に授業とは別に講義を行って頂き、実施する5学部の教室へのリアルタイム配信を試みた。総合大学としての強みを生かして、幅広い教養を提供したい。

プロジェクトの結果・成果

■私たちは、先生方に所属する各学部の教室で実際に受講生の前で講義を行ってもらい、それを同じ教室にいるプロジェクト学生が編集し、オンライン動画サービス YouTube で限定公開して、受信する学部の教室でプロジェクト学生が操作することで、離れた学部にいる受講生にリアルタイムで講義を配信することを実現した。また、オンライン質問ができる Slido を用いて、双方向の講義を作り上げた。■担当してくださる先生方への交渉は、1から学生で行った。知的財産を理由に断られる先生方が多く、交渉は難航し時間を要した。会う時間を作って交渉することもあったが、補助金との兼ね合いからメールのみで交渉する先生方もいた。各学部によって、文化やルールが異なることによる交渉の大変さはあったが、結果的に無償で承諾して下さった先生方には感謝している。■当初予定していた6回の特別講義のうち、5回を実現することができた。実現できなかった工学部は台風19号による被災の影響がある。配信する学部から5つの学部と同時に配信する計画であったが、入試や学部ごとに異なる休日のため、実施した講義のすべてを受信できない学部が存在した。■アンケートでは、「とても面白かったです。今後の勉強に役立てます。」(理工学部の受講生)、「今回の国際関係学部のように話を聞きに行きづらいキャンパスでの講義が聞けるのは良いと思います。」(理工学部の受講生)、「授業で宣伝されていたので来ました。かなり良かったのでもっと宣伝するべきだと思います。」(芸術学部の受講生)といった声がある。中には毎回参加してくれる受講生もいた。広報は、独自のウェブページと Twitter のほか、実施学部の学生課、歯学部図書館、経済学部本館での掲示も行い、経済学部生の受講者もいた。広報力が課題になる。

活動写真

